

特別活動

「手話で表現してみよう」

秦野市立東小学校



単元（題材）目標

- 手話を使って表現したり伝え合ったりすることを通して、音を聞き取ることに難しさを抱える人々の考えや気持ちについて理解を深める。

（1）実施時期

令和3年2月9日（火）

（2）対象（学年等・人数）

第4学年3組：30名・小学校教員：1名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：4学年担任1名

（4）実施内容

- ①手話について知る。
 - ・神奈川県教育委員会作成資料『手話啓発リーフレット』を活用し、手話についての基本的な知識や表現について理解する。
- ②平塚ろう学校の活動について知る。
 - ・平塚ろう学校の学校紹介動画を視聴することを通して、同世代の子どもたちの姿から、手話を用いたコミュニケーションや聴覚障がいをもつ人たちの生活について、理解を深める。
- ③手話を体験する。
 - ・手話への興味を深めるために、子どもたちが知っている音楽を演奏とともに手話で表現している映像資料を視聴する。
 - ・『手話啓発リーフレット』から、「あいさつ」「自己紹介」の表現の仕方について知る。
 - ・教室内で手話を用いた自己紹介をする。



（5）成果

- ・手話の成り立ちに関する基本的な知識や、手話を用いて生活する人々について知ることを通して、音を聞き取ることに難しさを抱えている人々への理解を深めることができた。
- ・手話への興味や理解を深め、簡単な挨拶や自己紹介ができるように積極的に練習することができた。また、手話を通して自分の表現したことが伝わる楽しさや喜びを感じることができた。
- ・平塚ろう学校の生徒たちの手慣れた手話の様子から、「手の動きがすごい速さでわからないね。」「でも、声が聞こえない人からしたら、口の動きだけで話を理解しようとするのは同じように大変なのかもしれないね。」など、聴覚障がいの人々の立場になってコミュニケーションの在り方を考えることができた。（活動中の児童の反応）